

**平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会  
第1回緑区役所部会議事録**

**1 日時**：平成27年6月12日（月）午後1時30分～午後4時00分

**2 場所**：千葉市緑区役所 5階 会議室

**3 出席者**：

**(1) 委員**

潮来 克士委員（部会長）、小川 真実委員（副部会長）、鶴見 泰委員  
豊田 洋祐委員、森山 源次委員

**(2) 事務局**

喜多見順区長、渡辺地域づくり支援室長、安藤主査

**4 議題**：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
- (2) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について
  - ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて
  - イ 千葉市緑区鎌取コミュニティセンターについて
- (3) 今後の予定について
- (4) その他

**5 議事概要**：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について  
委員の互選により、潮来委員を部会長に、小川委員を副部会長に選出した。
  
- (2) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について
  - ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて  
まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。  
次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案では「A」と評価したが、「サービスの向上」や「管理経費の縮減」など4年間で考えた場合、もっと評価すべきと判断できるので本部会として「S」と評価が相当と判断した。また、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。
  
  - イ 千葉市緑区鎌取コミュニティセンターについて  
まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

(3) 今後の予定について

議事録の公開について、事務局から説明した。

(4) その他

委員からの質問等を受け付けた。

## 6 会議経過 :

○事務局職員 それでは、定刻となりましたので、よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、足元の悪い中、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます、地域振興課地域づくり支援室の安藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

なお、現在、傍聴人の方はいらしておりません。

それでは、委員の皆様を順番にご紹介させていただきたいと思っております。

公認会計士でいらっしゃいます潮来克士委員でございます。

○潮来委員 潮来です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 次に、千葉大学法政経学部准教授でいらっしゃいます、小川真実委員でございます。

○小川委員 小川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 次に、弁護士でいらっしゃいます、鶴見泰委員でございます。

○鶴見委員 鶴見でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 次に、元鎌取コミュニティセンター運営協力会会長でいらっしゃいます、豊田洋祐委員でございます。

○豊田委員 豊田です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 最後に、元あすみが丘プラザ運営協力会会長でいらっしゃいます、森山源次委員でございます。

○森山委員 森山です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 以上、5名の皆様でございます。

続きまして、事務局職員をご紹介します。

喜多見区長でございます。

○喜多見区長 どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 続いて、地域振興課職員です。

渡辺地域づくり支援室長でございます。

○渡辺地域づくり支援室長 渡辺です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、緑区長の喜多見からご挨拶を申し上げます。

○喜多見緑区長 改めまして、皆さん、こんにちは。

本日は、ご多忙の中、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の第1回緑区役所部会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

委員の皆様方には、日ごろより、市政はもとより、区政の運営、とりわけコミュニティセンター管理運営に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことを、この場をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、土気あすみが丘プラザ、鎌取コミュニティセンターの両施設につきましては、指定管理者と連携を図りながら、地域活動の拠点として、さらには、土気あすみが丘プラザにつきましては、地域住民のための学習・文化等に関する各種事業を実施するなど、より区民の皆様にご喜ばれる施設となるよう、質的な向上に努めておるところでございます。

委員の皆様には、専門的な知識、経験をもとに、施設管理のサービス水準の向上、業務の効率化、改善を要する点等につきまして、忌憚のないご意見をいただきたく、お願い申し上げます。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上に、諮問書の写し、次第、席次表を置いてございます。確認ください。

その他、鎌取コミュニティセンターと土気あすみが丘プラザのパンフレットを置いてございますので、お時間のあるときに見ていただければと思います。

また、森山委員からの事前質問に対する回答も机の上に置かせていただいておりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、資料の簿冊についてですが、事前に配布をさせていただいておりますので、つづり方等について簡単にご説明させていただきます。

緑色と山吹色の2冊目です。あと、ピンク色の3冊がございます。各簿冊の1ページ目に、3簿冊分の目次をつけてございます。

初めに、緑色のファイルの目次をご覧ください。

緑色のファイルには、緑色のマーカーで囲まれた資料1から資料7-2までがとじてあります。目次の資料番号が、それぞれのインデックスと対応しております。こちらには、土気あすみが丘プラザと鎌取コミュニティセンター、両施設の平成26年度の評価や4年間の総合評価などをつづっております。

次に、山吹色の冊子ですが、こちらのファイルには、目次を黄色のマーカーでつづっております。参考資料1-1から事前参考資料5-2までをとじてございます。

参考資料は、平成23年度から平成25年度までの、両施設の評価シートなどがつづられており、後段の事前参考資料として、5年前の募集関係の書類や提出された提案書、協定書などがつづっております。

最後に、ピンク色のファイルには、目次をピンクで囲っております。その他として、平成27年3月に策定、公表されております、千葉市指定管理者制度運用ガイドラインなどをつづってございます。

よろしいでしょうか。

続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日の出席委員は全委員の出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

なお、昨年の8月に委員の改選が行われ、初めての部会となりますので、部会長が決定するまでの間、区長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○事務局職員　それでは、喜多見区長、議事進行をお願いいたします。

○喜多見仮議長　ご承認いただきましたので、仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題1の部会長及び副部会長の選出に入らせていただきます。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○豊田委員　できれば、潮来先生に部会長をやっていただいて、前回から引き続いて、小川先生には副部会長をお願いしたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

○喜多見緑区長　ただいま潮来委員を部会長にご推薦をいただきましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○喜多見緑区長　それでは、潮来委員さんに部会長をお願いすることで決定いたしました。

○潮来部会長　よろしく申し上げます。

○喜多見緑区長　では、潮来部会長さん、部会長席へお願いいたします。

ここで、潮来部会長さんに一言ご挨拶をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○潮来部会長　潮来です。改めまして、よろしく申し上げます。

この部会は、今回初めてで、なれていないことが沢山ありますが、ご指名ですので精いっぱいやらせていただきたいと思います。

この評価に関しては、ほかの部会でやっているんですけども、何分、こちらの土気あすみが丘プラザとか鎌取コミュニティセンターとかは、初めてなのでわからないことが多いと思いますが、精いっぱい努めますので、よろしく申し上げます。

○喜多見緑区長 ありがとうございます。

それでは、部会長さんが選出されましたので、ここで議長を潮来部会長さんに交代したいと存じます。ご協力ありがとうございました。

○潮来部会長 それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、副部会長の選出を行いたいと思います。

先ほどご推薦がありましたけれども、小川先生にお願いできるということで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 それでは、意見がございませんので、小川先生を副部会長に決定ということで、よろしくお願いいたします。

それでは、先生、一言ご挨拶をお願いいたします。

○小川委員 千葉大学の小川です。皆様からご推薦いただいて、副部会長を務めることになりました。

緑区とのおつき合いは長くて、もう3期目を数えると思うんですが、それでもいろいろなコミュニティセンターを見るにつけて、やっぱり時代とともに変化が少しずつ観察されるようになってきました。こういった実情を鑑みながら、この選定評価委員会の意見の取りまとめに寄与できれば良いと考えております。

何分にもちょっと見落としがちなる部分もあるかと思っておりますので、どうぞ皆様、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

○潮来部会長 ありがとうございます。

続きまして、議題2の指定管理者の行った施設の管理に係る26年度評価及び総合評価についてに入らせていただきます。

まず、年度評価及び総合評価の概要について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局職員 それでは、まず、年度評価の概要についてご説明させていただきます。

指定管理者選定評価委員会による指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要についてご説明します。

まず、評価の目的ですが、指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、また、選定評価委員会へ報告することによって、委員の皆様からのご意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため、実施するものでございます。

次に、管理の方法でございますが、まず、市が現地視察、ヒアリング等を通じて行ったモニタリングの結果、指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書等を踏まえ、指定管理者評価シート、いわゆる年度評価シートを作成いたします。

ここで、資料4-1をご覧ください。評価シートの内容についてご説明いたします。

評価シートは、大きく六つの項目で構成されております。

まず、1番目に基本情報、2番目に主な実施事業の利用状況、収支状況などの管理運営の実績、3番目に指定管理者が行ったアンケート調査の結果など、利用者ニーズ、満足度等の把握、そして、4番目に指定管理者による自己評価、5番目に市が履行状況を確認し評価を行う市による評価、最後に6番目として、委員会から答申をしていただいた意見を掲載いたします市民局選定評価委員会の意見となっております。

さらに、委員の皆様からのご意見をいただくに当たってのポイントとなります市による評価について、詳しくご説明をいたします。

まず、履行状況の確認についてですが、こちらには募集要項、管理運営の基準、基本協定書、提案書などで定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目を記載しています。市によるモニタリング等により、これらの項目の履行状況を確認し、その結果を仕様・提案を上回る実績、成果があった場合は「3」を、仕様・提案どおりの実績、成果があった場合は「2」を、仕様・提案どおりの管理運営が行われなかった場合は「1」を記載し、3段階で評価をしております。

その結果を踏まえ、市による評価では、仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われた場合には「S」を、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた場合は「A」を、仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった場合は「B」とし、3段階で評価をしております。

以上により、市で作成した指定管理者評価シートと指定管理者から提出された事業報告書、計算書類等の資料をもとに、選定評価委員会より当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点や指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の財務状況などに対するご意見をいただくものでございます。

最終的に、そのご意見等の中から部会としての意見を取りまとめていただき、それを部会長より選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長より市に対して答申をしていただきます。

なお、答申でいただきましたご意見は、先ほどご説明したとおり、評価シート6の市民局指定管理者選定評価委員会の意見欄に記載をいたします。

また、評価結果の取り扱いでございますが、選定評価委員会のご意見を記載した年度評価シートについて、市のホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善、効率化に向けた取り組みを促進するため、評価結果を当該指定管理者に通知いたします。

続きまして、総合評価の概要について説明させていただきます。

まず、総合評価とは、各年において実施しました年度評価を踏まえ、指定期間の最終年度において、指定管理者選定評価委員会にて行うものであり、現指定管理者の管理業務の総括のため、評価を行うものでございます。

次に、評価の進め方でございますが、まず、過年度の評価結果等を踏まえ作成しました指定管理者総合評価シート案について、施設所管課よりご説明させていただき、委員の皆様には、この総合評価について、評価の妥当性をご審議いただくとともに、サービス水準の向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けてのご意見をいただきたいと考えております。

以上でございます。

○潮来部会長　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。

(なし)

○潮来部会長 それでは、各施設の評価に移ります。

まず、千葉市土気あすみが丘プラザについて、所管課から説明をお願いいたします。

○渡辺地域づくり支援室長 それでは、あすみが丘プラザの指定管理者評価シートについて、説明させていただきます。

すみません、座って説明させていただきます。

緑の簿冊の資料の4-1をお開きください。

まず、1の基本情報ですが、指定管理者は、ANAスカイビルサービス株式会社、指定期間は23年4月1日から28年3月31日までの5年間です。

次に、2の管理運営の実績についてでございますが、まず、(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。

中で、特に上から三つ目のプラザまつりにつきましては、11月29・30日に行われ、多くの近隣住民の方々にお越しいただき、来場者は約7,000人と盛況でございました。

②の自主事業につきましては、年間で25の事業を実施しております。複数回実施する事業もございますので、延べですと、37回の実施がございました。

各事業は、実施時期の順に上から記載しております。特に、事業名の四つ目、6月29日に行われましたプラザ音楽祭では、5サークル47名にご出演いただき、観客や参加者に楽しんでいただくとともに、地域リーダーの育成にも寄与することができました。

また、下のほうにございます翌年3月7日に実施されております歴史講座、千葉の古墳につきましては、地域の歴史や文化を学ぶとともに、地域への愛着や地域交流の促進を図ることができました。

次に、2ページをご覧ください。(2)利用状況でございますが、平成26年度利用者数は、目標値が9万2,870人に対し、実績は11万1,121人で、目標達成率は119.7%、前年比では105.7%でございました。

稼働率は41.6%で、目標値である37.7%に対し、3.9%の増となっております。対前年では、自主事業の拡充などにより、1.7%プラスとなっております。

次に、(3)収支状況につきましては、収入の合計額が6,360万1,000円で、支出決算額の合計が6,295万1,000円で、収支の決算額は65万円のプラスとなっております。

指定管理者と大幅な利益の還元につきまして協議を行い、本年度は27万9,000円の利益の還元を受けることとなりました。還元の方法につきましては、会議室3というところがございますが、大きな鏡をつけるなどの修繕を予定しております。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、これは施設の貸し出しにおける許可ですが、ご覧のとおりです。

(5) 市への不服申し立てについてはございません。

(6) 情報公開の状況ですが、開示請求は1件となっております。情報公開の内容は、平成22年度の公募時の指定管理者が提出した提案書及び収支計画書の写しの請求でございました。

次に、3ページをご覧ください。3、利用者ニーズ・満足度等の把握についてですが、まず、(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、アンケート調査は、年2回全利用者を対象に実施しております。調査の結果といたしましては、概ねよい

評価をいただいております。ただし、施設利用料金及び予約方法については、他の項目と比較すると、「やや悪い・悪い」、「不満・非常に不満」と思っている方の割合が多くなっております。

しかし、予約方法へのご不満は、指定管理者の工夫や予約システムの定着などが図られたことにより、昨年度と同アンケートの調査結果と比較しますと、1回目の「悪い」が、昨年度15.8%だったものが12.1%、2回目の「不満」と「非常に不満」を合計して、12.8%あったものが、今年は7.3%と減少しております。しかしながら、予約システムについては、まだご不満と思われている方がいらっしゃいますので、引き続き改善点がないかなど、注視してまいりたいと考えております。

また、③アンケートにより得られた主な意見、苦情への対応ですが、二つ目、女子更衣室を安心して利用できるように、内鍵を取りつけてほしいというご意見につきましては、内鍵付きのドアノブと交換し、サービスの向上を図っております。

(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、市長への手紙などはございませんでした。

次に、4、指定管理者による自己評価につきましては、施設の維持管理は、利用者の快適性向上に必要な修繕を実施し、施設の適切な管理に努めたこと、また、多種多様な自主事業とロビーでの催し、ホームページを含めた広報活動等により、稼働率、利用者数、利用料金収入、サークル登録者数を増加することができたこと、自主事業は、当初計画18事業、延べ30回を計画し、全て実施するとともに、計画外7事業を含み、延べ37回実施し、利用者より高い評価を得ることができ、稼働率の向上に貢献しました。

さらに、魅力ある公共施設となるべく、多種多様なイベントの企画や高品質なサービスの提供を実施しているとの自己評価をしております。

次に、5、市による評価ですが、評価は3段階評価の真ん中であり「A」といたしました。

理由といたしましては、施設管理業務は、おおむね仕様・事業計画どおりに実施され、利用者数は諸室利用者、体育館個人利用者及び団体利用者とも目標値は達成しており、稼働率についても、昨年度の実績及び目標値を上回る結果となっております。また、「サークル代表者会議」、「利用者・地域住民の意見を聞く会」を開催するなど、利用者の意見を取り入れた運営を目指し、プラザまつりについても、関係団体との連絡調整を実施し、円滑に事業運営を行ったこと、さらに自主事業は、計画外事業も積極的に実施しており、稼働率の向上にも貢献したことなどからこのような評価をいたしました。

次に、4ページをご覧ください。履行状況の確認につきましては、ご覧のとおりとなっております。

全てで101項目ございますが、3点をつけさせていただいたところを中心にご説明させていただきます。

4ページ上段の「モニタリングの考え方」の項目のうち、「利用者の意見を聞く会の開催」については、意見を聞く会での利用者の意見を反映した施設運営を行っているため「3」と評価しております。

4ページ中ほどにございます「市内産業の振興」の項目のうち、「次代を担う経営者等への集まる場所の提供」については、土気の歴史から考えるまちづくりフォーラム、土気に関する研究発表やビブリオカフェなどを開催し、次代を担う経営者等への集まる場所の

提供を積極的に実施していることから「3」としております。

「常設美術館・ミニコンサートホールの設置」については、コンサートが21回、展示が11回実施されているため、こちらも「3」と評価しております。

「千産千消の推進」につきましては、フリーマーケット及びプラザまつりで地元の農家の方の出店を積極的に調整するなどしているため「3」といたしました。

4ページ中段にございます「雇用の考え方」につきましては、障害者を1名雇用しているため「3」と評価しております。

4ページ下段にございます「複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方」の項目のうち、「複合施設との連携」については、併設しております緑図書館あすみが丘分館と読み聞かせや夏休みイベントの共同企画を行っていることから「3」としております。「近隣施設との連携」につきましては、近隣の小学校、土気公民館との事業の広報や備品、駐車場の借用などの連携を図っているため「3」としております。

4ページ下段にございます「利用者サービスの向上」の項目のうち「ロビーでの新聞の提供」につきましては、ご利用者の方からの要望により1紙増としているため「3」としております。

5ページ上段にございます「利用者支援」の項目のうち「地域の文化資源、人材等の情報発信」につきましては、近隣医療施設や行政書士との講座を企画し、地域の人材等を活用した講座を実施しているため「3」としております。次、「ユニバーサルサービスの徹底」につきましては、障害者スポーツの発展に寄与する取り組みを実施しているため「3」としております。「受付の改善」につきましては、受付業務のために独自のソフトを開発し、利用者待ち時間の短縮を図るなどの取り組みを実施しているため「3」としております。

5ページ中段少し下でございます「施設の利用条件」の項目で、「障害者・障害者団体等の減免」につきましては、先ほどご説明した「ユニバーサルサービスの徹底」と同様に、障害者スポーツの発展に寄与する取り組みを実施しているため「3」としております。

5ページ下段にございます「管理運営の執行体制」の項目で、「適切な人員配置」につきましては、平成26年度から施設予約システム対応で受付職員を増員しているため「3」としております。

5ページ下段にございます「自主事業の効果的な実施」の項目では、「自主事業の実施状況」につきましては、講座数、内容等が充実しているため「3」としております。

6ページ上段にございます「施設の保守管理の考え方」の項目で、「駐車場不足への対策」につきましては、近隣施設との連携や臨時駐車場を確保するなどの取り組みを実施しているため「3」としております。

その他の項目においては、概ね仕様・事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりますので、全て「2」と評価いたしました。

よって、6ページ一番下段にございますように、3点とした項目は15項目、2点とした項目は86項目、1点とした項目は0項目でございます。

従いまして、全ての項目の評価の平均は2.148となりますが、小数点第2位を四捨五入しておりますので、2.1と記載しております。

土気あすみが丘プラザに関する指定管理者評価シートの説明につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

○潮来部会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明について、委員の皆様から何かご質問等がありますか。

○小川委員 ちょっと確認したいんですが、もうこの評価シートの議論に入っているわけなんですよ、審議の順番として。

○事務局職員 はい。

○小川委員 財務について触れるのは後ですか。

○事務局職員 そうですね。財務については後です。

○潮来部会長 事前質問があって、これに関しては、ここでとりあえず触ればよろしいですか。あるいはもう、これで済んだことになりますか。

○事務局職員 森山委員からのご質問だったので、できれば森山委員からどういう意図でご質問されて、その回答をこちらで言わせていただけたらありがたいと思っております。

○潮来部会長 それでは、森山委員のほうから、ご質問の内容と、回答はこれで十分かどうかについて教えていただきたいと思います。

○森山委員 全体的に今年は実施事業が多くて、自己評価が良いので質問しましたが、本当に質問の回答の様に理解し実施していることで、地域の状況・駐車場の問題でもかなり改善されている部分があります。特に今年のサークル代表者会議では駐車場の件で利用者が利用時間終了時の13:00に自動車を移動せずに昼食に行くことで、駐車場がなく、利用終了時は速やかに駐車場を次の利用者に空けるよう、館内放送などで、適宜に指導している等の説明をしていました。

地域の問題で「あすみが丘・土気」は2年前、町内自治会で循環バス希望の実態調査をしました。土気地区では利用希望の多いところは道路が狭くて小型のマイクロバスでの利用者調査となりました。朝・午後・夕方・夜間の通勤、通学対策ですが、15名前後の乗車では採算がとれずに断念しました。

公民館との意見交換をしたことで、交通問題を考えての取り組み、児童への防犯・自転車の乗り方・父母会と地域の子供等々相互的に指定管理者が考えているかを聞きました。

特に企業と色々なことで交流していることでその部分を聞きました。あすみが丘で大企業はないので、企業の日常活動を把握しているかを聞いてみたいと思いました。

会議室等利用状況で平日の利用率が悪い、特に料理教室が利用されていないので今後の施策等を聞きたいと思いました。

26年度の報告で自己評価が高く、最終年度（5年目）で稼働率が悪くなったとき、今まで稼働率は10年間で37%前後で今回40%台に高い評価、地域のあらゆる状況を把握し、最終年度の取り組みに頑張っ欲しいと思ひまして質問をしました。

○潮来部会長 大体そのご質問の意図に合った回答をいただいたということでよろしいですか。

○森山委員 事務局からもコメントを指定管理者に出して、説明をしていただきました。

○潮来部会長 あと、何か付け加えることはありますか。

○事務局職員 森山委員から自分の意図に合った回答をいただいているということで、省略してもよろしいということであれば、このままでよろしいでしょうか。

説明をした方がよければ、説明させていただきます。

○小川委員 簡単に概略だけお願いします。今、話を伺っていて思ったことなんですけど、公の施設として地域の実情に合った公共的な、地域の足の話もされていたし、あとは施設管理の面で、多岐に渡っていたと思うんですけれども、公共的な側面が強かったですよね。そういう趣旨の話なんですか。

○事務局職員 そうですね。森山委員の方からは、近隣の公民館だとか、そういったところとどういう連携をとっているんですかとか、各地域からどんな交通機関で来ているか把握していますか。そういった状況を聞かれたものですから、こちらの方で確認しています。

それでは、公民館、地域との連携ということで、説明させていただきたいと思います。

まずは、近隣の土気公民館と不定期でお会いして、情報交換だとかいろいろなやりとりをして、相互にポスターだとか情報交換をしているという状況です。

越智公民館についても、同じように、ポスターの掲示だとか、事業の情報の協議もしています。

鎌取でやっているカルチャーセンターの講座内容だとか、そういったものも情報収集し、自分のところでやる自主事業の金額の算定等にも役立てていると思います。

7番目にございますプラザ周辺の自治会の会合に参加させていただくということで、自治会に対して、プラザで実施している事業の報告だとか、ご案内だとか、定期的に行って、地域との連携はできていると思っております。

2ページ目をお願いいたします。各地域からどんな公共交通機関で来ているか。プラザについては図書館も併設されているということで、1日約800名の利用者がいらっしやいます。来館の手段については、自家用車、自転車、徒歩等が中心で、バスとかバイクで来られる方は少ないということで、確認をしております。

また、遠方からお子様を連れてくる場合はご家族の方が送られてくる場合が多いと思います。高齢者のご利用についても同じように、ご本人で来る以外は、ご親族の方が車で送っていただくというようなご案内をして、適正に駐車場が管理できるように努力はしているというところです。

3番目の企業との連携についてですが、これからの部分もございますが、介護教室、今年度実施する東大生と土気の課題報告会、千葉大生との土気に関する研究発表、千葉大学とのチャリティープラザ寄席だとか終活セミナーなど、さまざまな団体と連携して、講座を開催しています。

○小川委員 新たな、飛行機の講座がありますよね。あれはもう、そもそも企業とコラボでいいんじゃないですか。

○事務局職員 そうですね。

○小川委員 それが最大の売りだったと思うんですね。

○事務局職員 はい。26年度から飛行機の講座を開催しています。

○森山委員 私は交通問題、道路問題で市の方をお願いがあります。プラザの利用で自家用車での送迎が多いので、バス停と、駐車場出入りの車との混雑緩和のため「プラザ正面」に1メートル程度の車寄せを作ることを要請したいと思っています。

これは、駐車場の狭い事と出入りを良くして事故防止対策にも役立つと思います。

○事務局職員 今のお話は、施設管理者ではなく、市として検討して参ります。

○小川委員 3番目の質問項目を確認したいんですが、このさまざまな団体とのコラボについてですが、これは自主事業になっているものばかりじゃないですよ。チャリティープラザ寄席とか終活セミナーなどは自主事業ですか。土気の未来を考える講座も自主事業になるんですか。

○事務局職員 自主事業としては計画されておりません。ロビーを使った事業ということで、人に来てもらう、多くの方々に発表の場を提供するというような意味合いのもので、ロビーを活用した事業と思っています。

○小川委員 わかる範囲でいいんですが、2月に実施した事業はどのような内容ですか。

○事務局職員 土気に関する研究発表会ということで、千葉大生に来ていただいて、自分の研究発表をして、いろんな方々と意見交換をしたと伺っています。

○小川委員 それは、自主事業じゃないですよ。

○事務局職員 自主事業ではないと思います。発表する場の提供だと思います。

○小川委員 場所を借りるのでお金を払っているのですか。

○事務局職員 払ってはいないです。お金はかかっていません。

○小川委員 それは単発のイベントなんですか。

○事務局職員 単発になると思います。ロビーの展示だとか発表、音楽のサークルの発表などと同じようなものとイメージしていただければと思います。

○小川委員 それは工学部とかそういうところですか。

○事務局職員 すみません。そこまではわかりません。

○森山委員 会議室は自主事業で無料で貸して、あとは、そのときによかったらみんなにカンパしてもらって、募金として大震災のほうのチャリティーにしています。

○事務局職員 千葉大生が実施しているチャリティー寄席ですね。

○渡辺地域づくり支援室長 千葉大とは随分コラボをして、いろいろやっていただいているようです。

○小川委員 こういうことをやっていたんだと思って。

○事務局職員 土気NGOという団体代表者の方が千葉大のOBで、隣の公園でフリーマーケットをやったりとか、地域の方々と協力して、「土気の歴史から考えるまちづくりフォーラム」や「ビブリオカフェ」などの企画をあすみが丘プラザのロビーを利用して実施し、地域の人材の発掘や発表、意見交換などを行っています。

○渡辺地域づくり支援室長 千葉大生のほか商工会議所も入っています。

○小川委員 研究発表をやっているのであれば、現役の学生もいるのですか。

○事務局職員 そうですね。土気についての研究発表に関する意見交換会では千葉大生が多く参加しています。現役の方を含め四、五十名になっていたと思います。

○小川委員 先生引率ですか。

○事務局職員 先生引率だとは思いますが、先生の名前までは存じあげていません。

○小川委員 ちょっと気になるなと思って。

○事務局職員 後程、調べてお知らせすることよろしいですか。

○小川委員 お願いします。

○潮来部会長 後はよろしいでしょうか。何かございますか。

(なし)

○潮来部会長 なければ、次に進めます。

ただいま、施設所管課から説明がありました。年度評価では指定管理者の倒産・撤退のリスクを把握することとなっております。これから、計算書類等をもとに、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書きの規定により、ここからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については、再び公開とします。

傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、公認会計士である私から、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに意見を述べさせていただきたいと思えます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人情報)が含まれているため、表示していません。)

ただいまの件に関して、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

(なし)

○潮来部会長 ということであれば、スカイビルサービス株式会社に関しては、倒産・撤退のリスクということについてはないということで、これを本部会の意見ということにさせていただきますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については、公開といたします。

傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けさせていただきます。

それでは次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思えます。何かご意見はございますか。

○鶴見委員 まず、利用者数の件ですけれども、前年度に比べて約五千人と、目標値に対して119%と非常にオーバーしております。大変結構なことであると思えます。

来年度以降も、このように利用者の増加を見込んだ運営をしていただきたいと思います。

○潮来部会長 わかりました。

利用者に関しては、随分増えていますよね。

○小川委員 資料4-3の報告書ですが、7ページ目を拝見しますと、自主事業の概要と収支があるんですが、そこで自己評価で「良」と「優」と付けているんですけど、これはどういう基準でつけているか確認できますか。

○事務局職員 この自主事業の評価については、34ページに評価基準があるかと思うんですが。この「優」と「良」ですか。

○小川委員 「優」と「良」です。

○事務局職員 「優」と「良」については、あくまで指定管理者の自己評価ですが、ほぼ

目的を越えていれば「優」というような形をとっていると聞いております。あと、通常の提案どおりというか計画どおりという場合は「良」というような形になっています。

ですから、私どもで言う「S」「A」「B」というような評価と同じように、「優」「良」というような内容になっています。

○小川委員 それだったら、劇団さくらんぼ公演は、人が200人来て、良というのものがないので、あらかじめ定めた目標があるのではないですか。

○潮来部会長 目標に達していなかったということですか。

○事務局職員 目標どおりなので、「良」というような評価をしています。

○潮来部会長 ここだけでは、分かりにくいですね。

○事務局職員 市の評価とそんなに基準は変わらないと思います。

○小川委員 続けていいですか。質問を。

こちらの施設を運営されているスカイビルサービスなんですけど、コミュニティセンターの運営の仕方について、そういう経営理念というのを、あらかじめ表明していましたよね。それについては、変わりはないという理解でいいですか。

○事務局職員 社長も区長を訪問して、地域貢献をしたいと。地域のためにどれだけ貢献できるかということを考えて事業をやっています。自分たちの持っているノウハウを活かしてというのは、変わりないと思います。

○小川委員 評価シートと突き合わせて確認をするならば、資料4-1が評価シートですよ。それも、4ページ目、5ページ目とかに、市も一生懸命チェックされて、コメントをつけて点数をつけているんですが、利用者支援と市内産業の振興が目立ちますよね。地域貢献と考えたときに、スカイビルの場合には、クレームが出たら即座に対応して、それで施設の運用について改善して行くという積極的な取り組みがあるという理解でよろしいですか。

○事務局職員 市も呼ばれて、実際に現場を見ろよというのもありましたけれど、その場で改善できることはその場で改善して、失敗があればそれを繰り返さないような努力はしています。

○小川委員 とするならば、即応というんですけど、そういうのを。即応する対応姿勢は、非常に望ましいと思います。

○森山委員 館長が変わったという部分もあるんですね。今の菊地館長さん。それと、前は上地館長。従業員も引き継いで雇用されているようです。私が見ている限りでは、いろいろな問題について対応ができていると思います。

○事務局 実際には、その上に所長である村井部長がおります。

○森山委員 所長は、ご挨拶だけに来ます。年一度、何かのときには来て、ご挨拶をしています。館長が変わったときに変わったなというのを感じています。

○渡辺地域づくり支援室長 何か大きな問題になると、成田支店から来て対応しています。

○森山委員 人を派遣してくれるんでしょう。プラザまつりでもね。

○渡辺地域づくり支援室長 そうですね。プラザまつりのときは、雨の中で、周りの駐車場に立っていました。

○小川委員 ああ、そうなんですか。

○渡辺地域づくり支援室長 一昨年、トラブルがあったのですが、それを改善するために

シルバーを雇ったり、近隣駐車場を借りてくれたり、近隣の商業施設の駐車場に雨の中、看板を持って立たせていました。

○小川委員 看板が大きいところは違いますね。

○潮来部会長 看板が大きくても、そこまでなかなかやれないですよ。そんな話は余り聞いていないですよ。

○森山委員 前は、学校を借りていたんですけど、今は近いところを借りているようです。

○事務局職員 公園の隣に広いところがあります。

○森山委員 広いところがありましたので、そこが借りられると。

○事務局職員 三、四十台は止められる駐車場を借りているようです。

○小川委員 去年も同じようなことを申し上げたと思うんですけど、こういう即応してくれる姿勢とか、地域貢献してくれる姿勢は、高く評価したいと思います。また、市内産業の振興についてなんですが、できれば千葉市内で、もしくは千葉県内で決着をつけて欲しいです。とはいえ、施設の関係上、業務に精通した業者に委託するのが望ましいと思います。特定のところに、余り偏ることなく、いろんな業者が出入りしているようです。その辺は、よく丁寧に探しており、コストの関係も、よく吟味していると思います。総論的な話は、先ほど申し上げたとおりです。待遇が良いところです。

各論的な話で、自主事業について言うと、今度は事業報告書を見れば、よく分かるかと思います。8ページ目をご覧ください。様式第6号を見ていただいたら一目瞭然です。スカイビルさんは、テーマ性を持って、分類を定めて、戦略的に実施しております。だから、特定の事業内容に偏らないようにしている、工夫が見られるかと思われまます。

もう少し、自主事業の件数を増やして欲しいと思います。だから、そこから次に、できることならばサークル化を促してほしい。サークルとして組織できるようにしていただければ、より指定管理者として委託した意味があると思います。とはいえ、人口が減っていく中でサークルを増やすというのは、無理な注文かもしれないので、利用者にとって、こういうものがあつたらいいなというような、公共性のある事業に力を入れて欲しいと思います。

○事務局職員 小川委員から質問いただいた件ですが、報告書の33ページを見ていただいてよろしいでしょうか。そのサークル数の推移が載っておりまして、平成23年度が287、24年度が299、25年度が354、平成26年度は408ということで、人数の増減は多少あるかもしれませんがサークル数については約120団体増えております。それは、どのような原因でふえたかというのは、指定管理者が調査しております。

○森山委員 私のクラブ活動の拠点はプラザでなく隣のふれあいの広場公園でグラウンドゴルフを行っています。役員会・総会で会議室を利用していますので届出をしています。会員57名で名簿、総会資料を添付して年間活動内容を報告しています。

2~3のサークルに加盟している人もいます。会費の支払いが複数となる方は大変ですが、利用者は大幅に増加してないと思います。公民館は無料で色々なサークルが利用しています。また、社協で高齢者の一人暮らしの人の昼食会を行っています。

高齢者で活動できる人が元気に参加できるサークルの増加を望んでいます。

実質的には、サークルは増えていない。社協の活動に参加しているんですけど、サークルは増えてはいないですね。人口も、そんなに増えていない。

○潮来部会長 人数は多少増えているけど、サークル数で増えた程ではないということですか。

○事務局職員 登録数で言うと、増えています。

報告書の29ページに、新規登録サークルのご意見収集について、平成25年度と26年度の登録数が大幅に増加したので、どうしてふえたのかアンケートで聞きとっております。

○小川委員 それならば、評価シートの評価項目にあるべきと思います。指定管理者の努力もあると思うんですよ。結構驚異的な伸びですよ。数で言うなら。市は評価してあげてもいいと思います。そこには至らない何か特段の理由があったんですか。評価シートを作成するに当たって、該当する項目がなかったのですか。

○事務局職員 そうです。サークルについての評価は、該当する項目はございません。

○森山委員 自主事業のところではないですけど、和室の利用が増えています。社協で、今まで月1回を月2回など子育て支援は活動が増加しています。支援して頂ける子育てOBも増加しています。

昨年度、「オムツ」の取替え台を各階に設置して利用者に喜ばれています。子育て地域の「あすみが丘東」は若い人や子供が多くいて、子育て中のお母さんを大切にする社会福祉協議会土気地区部会の取り組みや支援など小学校・中学校で子供さんと「ふれあい活動を計画支援」していることが学校新聞に掲載されました。

こうした活動は自主事業ではないが、お手伝いをしている面は地域活動の中にあります。

○潮来部会長 そういうことでいいですかね。

○小川委員 評価シートの作り方が、いろんな区を見ていて、横の連携というのも必要ではないかと思います。欠けている項目ってあるような気がします。今回、その顕著な例だと思います。

とりあえず、現場の意見を反映させてもいいんじゃないかと思います。人口が減っていく中で、サークルがこれだけ種類が伸びてくるというのは、多様性が進んでいると思います。ぜひともこういう数値として裏づけられているものは、評価に積極的に盛り込んで欲しいと思います。

○渡辺地域づくり支援室長 この評価項目は、提案書ベースでつくられております。

○小川委員 事前の計画書と事後の報告書を突き合わせてという格好じゃないんですか。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 その計画書自体、ここは、どちらかというとも水準が高いと思います。計画書ベースになってしまうと、高いものをさらに越えろという話になるのではないですか。

○事務局職員 もともと載っていますので。

○小川委員 水準の高いところが、やるべきことをやって2点ですけど、水準の低いところがやるべきことをやっても2点ですよ。

○渡辺地域づくり支援室長 3段階も、ちょっと。

○潮来部会長 そうですよね。確かに3段階は厳しいですよ。

では、特に業務の効率化とか改善とかという点では、それほど大きな問題はなくて、むしろ色々よくやっているという評価で、より一層、よくやって欲しいという要望というか。

○小川委員 自主事業ですよ。

○潮来部会長 利用者増を図るとか、何かできることを広げて行って欲しいということでもよろしいですか。

○小川委員 すみません。1点。管理経費の問題なのですが、資料の4-3の36ページ目に、収支決算書があるんですね。これは計画書だと収支予算書と書いているんですが、この予算書と決算書を見ても、高いレベルの接遇を支えるためには、色々な裏づけが読めるんですけども、全体的に見て、利用者に配慮をしているようなお金の使い方だという印象は持ちました。だから、管理経費の取り扱いについては適切であると考えております。

○潮来部会長 そんなに予算は使われていなかったですよ。

では、今言われたようなことをまとめて作成とするということでもよろしいですか。特段の、あるいは改善を要する点というのは、特になしと。特段事項はなくて、より良くするために、今後少し効率化を図ってもらうとか、利用者増とかサークルの拡大を図ってもらうとか、そういう点を注文というか意見としてつけ加えるということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 それでは、総合評価に移りたいと思いますけれども、総合評価について、ご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○渡辺地域づくり支援室長 それでは、総合評価について、ご説明させていただきます。

資料は、少し先の5-1と5-2が総合評価の関係資料となります。

初めに、5-2からご説明させていただきます。

1の基本情報と2の管理運営状況(1)業務の概要については、ご覧のとおりとなっております。

(2)利用状況の①利用者数でございますが、指定期間当初からの推移をまとめてございます。

諸室の利用人数は、平成23年度から26年度まで徐々に伸びております。平成23年度より施設の有料化が始まったため、利用者数は一時的に減少がございましたが、昨年度、平成26年度には、平成22年度の、有料化前の実績と同レベルまでに回復しております。また、下段に記載されております達成率も、平成24年度以降は、計画数を上回る実績となっております。

これは、各種自主企画事業の実施やロビーコンサートや展示会など、あすみが丘プラザに来館してもらうための取り組みが利用者増につながっているものと考えられます。

また、②の稼働率については、利用者数と同様、平成23年度から26年度まで徐々に伸びております。計画上の稼働率との比較については、平成23年度と24年度は目標を達成できなかったものの、平成25年度と26年度は計画を上回っております。

稼働率の伸びについては、先ほどご説明したサークル登録者数がふえていることなどが要因と考えられます。平成23年度が287団体、26年度が408団体と、120団体の増となっております。

次に、1ページめくっていただいて、利用者意見等への対応状況ですが、平成23年のところに記載してございます、駐車場の不足については、駐車スペースの白線をひき直しまして、2台分を増設しております。また、25年度に記載のとおり、先ほどからお話

出ていますように、近隣の小・中学校の駐車場を借りたり、民間駐車場を借用するなどの工夫を図っております。その他の利用者からの要望については、可能な限り迅速な対応をさせていただいております。

次に、3ページをご覧ください。まず、収支状況ですが、(1) 過年度の収入・支出状況ですが、最後の年の収支のとおり、東日本大震災の影響があった23年度については、収入のうち、利用料金が計画を下回り、収支も赤字となりましたが、24年度には支出を抑え、黒字額が大幅に増加となっており、平成25年度、26年度も収支はプラスとなっております。24年度と26年度には、大幅な利益の還元をしております。

次に、(2) 管理経費の縮減の取り組みについてですが、毎月のエネルギー使用量を小まめに集計して、特に電気の使用料についてはデマンド内におさまるきめ細かい対応を実施しております。また、廊下やトイレ前など、人感センサーLEDライトに換装し、光熱水費の節減により、支出の削減に努めております。

次に、5-1に戻っていただいて、指定管理者総合評価シートをご覧ください。

1の基本情報については、ご覧のとおりです。

2の総合評価の(1) 過年度の管理運営業務に対する評価ですが、23年度から26年度までの4年間の取り組みに対する総合的な評価であり、各種評価項目ごとの評価は、結果、全て概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたとし、Aといたしました。

評価の理由は記載のとおりですが、主なものといたしましては、例えば評価項目1の市民の平等な利用の確保、施設の適切な管理、その他市長が定める基準等のところでは、(4) 市内産業の振興についてですが、平成23年度には仕様、管理運営が行われていない項目が4項目あったんですが、24年度より改善し、25年度には提案書どおり実施することができております。平成26年度では、地産地消の推進など、3項目で仕様を上回る実施成果がありました。他の項目は、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたため、全てAと評価しました。

次に、評価項目2のサービスの向上ですが、うち、(2) 利用者支援については、平成25年11月より施設予約システムが開始されていますが、受付業務を簡素化するためのソフトをオリジナルで開発し、利用者の待ち時間を短縮する取り組みをしていることを評価しておりますが、ほかの項目と総合的に判断して、こちらもAと評価しております。

評価項目3、施設の効用の発揮、施設管理能力ですが、うち、(4) 自主事業の効果的な実施については、平成23年度より学習、文化、健康等に配慮した事業を積極的に実施していること、及びロビーでのコンサートや展示会など、施設利用者、地域団体と連携しており、地域に親しまれる施設として、事業の施設利用者の増加に寄与しています。その他の項目も計画どおりということで、全てをAと評価いたしました。

評価項目4、管理経費の縮減の(1) 管理経費の低廉化については、利用者人数の確保及び経費の節減に努めた結果、平成23年度以降は継続的に収支において利益を計上しており、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたとして、Aと評価いたしました。

最後の総合評価も、Aと評価しております。

ご審議のほうをお願いいたします。

○潮来部会長 ただいま所管から説明をいただき、千葉市土気あすみが丘プラザの総合評価につきまして、評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥

当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思ひます、

ご質問も含めて、何かございましたらお願いしす。

○鶴見委員 利用者の増加についてでございますが、平成23年度は有料化や、あるいは震災等の影響で落ち込んでいたところ、これを見る限り、結構、右肩上がりの順調な回復をされているということですので、指定管理者としては平成22年度までの基準に戻したということ、これについてはよくやっているのではないかとこのように評価すべきではないかと思ひます。

○潮来部会長 これはどこへ、もし入れるとしたら、総合評価のどこに入るんですか。利用者数が増加しているという、努力した成果が出ているということに関しては。特になんですか。

○事務局職員 項目的には評価する項目の中には含まれていないんですが、サービスの向上だとか利用の促進をした結果として、利用者の増加につながっていると思ひます。

○潮来部会長 結果的に結びついていますと。

○事務局職員 はい。そういうことになると思ひます。

○潮来部会長 みんなAってというのは何かおかしいような気がするんです。Sがあってもいいんじゃないかと思ひます。総合評価で、最終的にSというのは無理かもしれないけど。

○森山委員 管理経費の縮減でデマンド管理の取り組みとありましたが、プラザの設備で管理強化をすると、利用者に高齢者が多くて熱中症発生の恐れがありますので市の指導は適宜適切な指示をお願いします。

プラザの空調施設は大容量の体育館とロビーとの交互運転でのデマンド管理となっておりますので、今年も適宜、対応をお願いします。

夏休みの子供の利用時・高齢者の利用時はデマンド契約175kwですので室内温度の巡回点検監視を行い利用者からの指摘が出ないように努めるように指示して下さい。

○事務局職員 175キロワットという基準があつて、そこまで落とさなきゃいけないということで、施設管理者側としては入り口付近の空調と体育館の空調、そこを、時間ごとに人の出入りを判断させていただいて、体育館を落としたり、入り口のほうを落としたりということで、定期的に見回りをして、デマンドを超えないように意識して管理されていると報告を受けています。

○森山委員 今までは220キロワットなんです。それを175キロワットまで下げている。逆にデマンドをオーバーしたら大変なんだけど、45キロも下げてそれ以上は出さないということは電気をそれだけ使わないということになるんですね。節減はいいんだけど、利用者にとって暗いところがあるんですよ、トイレの前等とか、そういうところで転んだり、何かあったりしたらまずいと思ひます。そういう面で改善の余地があるかなと。

○潮来部会長 今のお話は意見として載せる話ですか。

○森山委員 館長に聞いてみます。また技術者にも聞いてみますから。

○潮来部会長 確かに余りやり過ぎてもよくないですけど。

○小川委員 利益の還元について、スカイビルとの取り決めはどうなっていましたか。

○事務局職員 取り決めについては山吹色の資料をご覧ください。一番最後に事前参考資料5-1があるのですが、このところに大幅な利益の還元という項目がありまして、

自主事業で得た収入の和と、支出した金額の和の差で生じた利益を言うということで、金額が幾らだと大幅な利益ということではなくて、千葉市との協議によって、大幅な利益の80%を還元するとの取り決めになっております。

○小川委員 自主事業がベースですか。

○事務局職員 自主事業は関係なくです。

○小川委員 委託料と利用料金、自主事業、全ての収入ですか。

○事務局職員 そうです。全ての収入の和です。

○小川委員 利益の還元はあったんですか。

○事務局職員 24年度と26年度にありました。今年度は65万円の利益があったので、27万9,000円の大幅な利益の還元をしてもらいます。今回については施設修繕を予定しています。

○小川委員 利益の還元については、総合評価シートではどこに出てくるんですか。

○事務局職員 利益の還元となると、管理経費の縮減の項目に該当すると思います。

○潮来部会長 利益の還元だと、管理経費の縮減じゃないですよ。収入の増もあったし。本来はそういう項目が、市の評価としてはあるといいのかなと思いますけど。

○小川委員 他の区役所部会で恐縮なんですけど、利用者数がふえて稼働率が上がって大幅な利益還元があったら、評価項目数が少なくても、Sがつくようです。利益還元があったならば、その項目のある、無しぐらいは書いてもいいような気がするんですけど。

Sをつけるときの基準については、市も悩ましいという意見をもらってるので、もう少し判断材料が欲しいと思っています。

この総合評価シートのところに、どういう項目があって、部会の意見が、これらの意見を踏まえた上でまとまったという証拠が明らかになるようにしておいてほしいなと思います。

この原案ですが、利益の還元の面についても、記載できるんだったら記載してほしいと思います。

コミュニティセンターによって、指定管理者によって、取り交わす内容が違うんですね。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 だから、判断しにくいんです。事細かく聞いていかないと。実は収支額で100万以上プラスがあったとしても、税を引いたりとか規定に合わせたら還元しませんでしたという事例があるんです。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 だから、こちらのANAスカイビルサービスだと、今回、平成26年度だと65万ですか。

○事務局職員 はい。

○小川委員 100万円未満にもかかわらず、利益還元しているんでしょう。

○事務局職員 そうです。

○潮来部会長 額は関係ないのですか。

○事務局職員 協定書に基づいて実施しております。

○小川委員 170万出したとしても利益還元できなかったとか、あるわけですから、

契約に基づいて。

○渡辺地域づくり支援室長 鎌取は100万以上と書いてあります。あすみが丘は書いていないです。この2館だけでも、その差があります。

○潮来部会長 本来的には同じにすべきという感じはしますけど。

○渡辺地域づくり支援室長 それも提案の一つなんです。

○小川委員 せめて評価シートには、ここは書いたほうがいいですよ、利益還元があると。

○渡辺地域づくり支援室長 項目的にはもう増やせないのです。

○潮来部会長 項目はふやせませんね。

○渡辺地域づくり支援室長 文言の中にそれを入れるということですか。

○小川委員 そういうことです。

○事務局職員 はい。わかりました。

○潮来部会長 入れるとしたら4番。

○渡辺地域づくり支援室長 4番になるんでしょうかね。

○潮来部会長 これだけじゃないけど、やっぱり利益還元ですから。これも含めたところで利益還元できたということですね。

○小川委員 提案書に利益還元の項目はありましたよね。

○渡辺地域づくり支援室長 はい。そうです。

○小川委員 だとするならば、年次評価とかシートの項目として設定してあってもよかったと思います。

○事務局職員 シートの大・中項目については、13館統一となっております。

○小川委員 全13館なので、毎年、市民総務課に言っているんですよ。

○事務局職員 委員のほうから言われたAという評価についてなんですが、4年間で評価し、その平均値というか、総合的に判断すると、Aとするのが妥当と考えます。

○渡辺地域づくり支援室長 見づらいなので、4年分を各項目ごとに一表にまとめてございます。真ん中にシャドーを入れてあるところが、2点なんですけれども。そうすると真ん中に集中しています。いきなり今年に来て、その評価をとというのも、厳しいと考えますが。

○小川委員 そもそも計画書の水準が高いと思います。

○事務局職員 はい。

○小川委員 とは言っても、そもそも計画書のレベルが高い。やろうとしていること、そしてやってきたことについては、地域の住民の方々の特性を考えたりとか、クレームが出たら即対応するという誠実な姿勢も見えます。提案書のレベルが高過ぎるだけに、これ以上、言うことはないんです。それを上回るっていうのはなかなか見つけづらい。

行政のチェックもすごく厳しいと思います。

○渡辺地域づくり支援室長 厳しいというか、先ほどご説明したとおりと考えております。

○小川委員 それが悪いのではなくて、ほかのところだとチェック項目は少ないんですけども、棚ぼた的に、人口が伸びているところだから、うまいこといつているのを見ているので。

○渡辺地域づくり支援室長 千葉市の中で緑区と中央区だけはまだ人口が減少してない、伸びてるんですよ。特に土気のあすみが丘周辺はまだまだ人口が伸びていて、高齢化率

も低いんです。おゆみ野、ここもそうなんですけどね。突出して低いんです。

○小川委員　　そういうところだとシニア向けのサービス、公共的なサービスを充実させるよりも、若い世代のほうにシフトするから、公益的なことよりも多世代間の交流促進になりそうですね。新たに流入してきているわけだから、横のつながりを強めるという形になると思います。

僕はこのAの評価は、いろんな事情を鑑みて、まあ妥当だろうなと思います。

○潮来部会長　　総合のAというのはよろしいですか。あとは、コメントでつけ加えてください。

○渡辺地域づくり支援室長　先ほどの利益の還元部分については、4でコメントさせていただきます。

○潮来部会長　　ありがとうございました。

今までのご意見を総合すると、市では総合評価Aと。委員としても妥当であるという結論でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長　　次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

今までも随分いろんな意見をいただいていますけど。

○鶴見委員　　今までのことで。

○潮来部会長　　そうですね。特につけ加えることはないと思います。今まで非常によくやっていましたし、4番のところで、市のほうで利益還元のことをつけ加えていただくなら、(2)のところで、こちらのほうでつけ加える話じゃなくて、市の意見は妥当であるという意見になるということかと思います。

○小川委員　　累計で、利益還元については累積で幾らになるのですか。

○潮来部会長　　2回だけ。

○事務局職員　　2回だけです。

○渡辺地域づくり支援室長　　24年度が54万、26年度が27万9,000円ですので、81万9千円です。

○小川委員　　利用者数は伸びているわけですね。

○事務局職員　　そうです。

○小川委員　　稼働率も、昨年から比べたら上がっているわけです。利益の還元もあるわけですね。

○事務局職員　　はい。

○潮来部会長　　とてもよくやっているところです。

○小川委員　　それを考えたら、Sにひっくり返したくなるんですね。他のところと比べても、そんなに遜色ないので。

○事務局職員　　そうすると4つの項目の中でSがないと、総合でSにはならないと思いますが。

○小川委員　　サービス水準のサービスの向上のところは3点項目が多いですね。

○事務局職員　　はい。

- 小川委員　　そこを上げていいような気がするんですけど。
- 潮来部会長　サービスの向上があったから、利用者も増えたと。
- 小川委員　　そうですね。
- 潮来部会長　不満があったら使わないからね。ソフトを開発したとかのコメント、これはこれで正しいんだと思いますけど。
- 小川委員　　そのコメントよりも、地域住民のニーズを反映したり、クレームにも誠実に対処したという方が、スカイビルの指定管理者としてのらしさが出ていると思うんです。
- 潮来部会長　利用者もだから増えたと。
- 小川委員　　しかも、地域性が出ています。地元のNGOと連携もあるし。
- 事務局職員　そうです。いろいろ地元と連携もしています。
- 小川委員　　だとすると、総合評価シートのところの2ページ目のサービスの向上のところですが、2のサービスの向上をSにしたいんです。そうすると(1)(2)も変えざるを得ないと思います。そこもSにしたいんですけど。私の意見としては。
- 事務局職員　(1)と(2)もSということですか。
- 小川委員　　受付業務を簡素化するためのソフトの開発ですよね。それは該当するんじゃないですか。
- 事務局職員　はい。
- 小川委員　　その後半部分の独自ソフトを開発してというのは活かしてもいいと思います。(2)に対応させる形で。1番目は、先ほど申し上げた丁寧な対応でいいと思います。
- 潮来部会長　皆さん、いかがでしょうか。
- 小川委員　　毎年、改善がなされて水準が上がってきているとお見受けしたんです。それは総合評価をやってみないとわからないことだと思います。
- 森山委員　　一生懸命努力していることについては評価して、先生が言ったように、その評価に対して頑張ってくださいという。
- 小川委員　　根拠が、数字として出ているので、そこはすくい上げてあげるべきだと思います。
- 事務局職員　確認なんですけど、2のサービスの向上はSで、利用者サービスの向上と2の利用者支援もSと、3項目Sということよろしいですか。
- 渡辺地域づくり支援室長　コメントに地域ニーズの把握や丁寧な対応を加えると。
- 小川委員　　はい。
- 潮来部会長　それが(1)に対応するということですか。(1)(2)がSにならいと、2はSにならないですよ。
- 小川委員　　最後にもう一つ入れるのであれば、毎年改善しているという一言を添えていただければ。前年度の反省というのは変ですけど、前年度の経験を活かして改善に毎年、取り組んでいると言えるんじゃないでしょうか。
- 潮来部会長　よろしいですか。ほかに委員の意見は。
- (なし)
- 潮来部会長　ありがとうございました。

そういったことを踏まえて、市の評価、そして（２）の次期指定管理者の選定に向けての意見は、今までの意見のところをまとめて記載するということで。

○小川委員 総合はＳですよ。

○事務局職員 総合はＳで。

○潮来部会長 総合Ｓ、それは市の評価。２番だけＳで、あとＡで、それで総合はＳっていうのはなかなか難しいんじゃないですか。一般的に言ったらＳになっただけ。

○小川委員 利益還元まであるから。３番目の項目なんて、どうあがいたって、Ｓなんかつかないですよ。

○潮来部会長 施設管理能力ですね。

○小川委員 法令で定められていることや定期点検、プラス日々の清掃業務だから、ここでＳを稼ぐのは難しいと思います。

○事務局職員 そうですね。なかなか厳しいかとは思いますが。

○小川委員 だから先ほど申し上げたとおり、資料５－２の数字で裏づけられる部分で、平成２３年度から比べて利用者が２万３、０００人ぐらい増えていて、諸室の稼働率も大幅に上がっていて、しかも利益還元まであって。

○事務局職員 はい。

○小川委員 利益還元も約８２万円実施しているんでしょう。それは評価していいと思います。この３点がそろわないのはなかなか難しいんです。特に最後の利益還元のところまでいくと。それを考えたら、ここは評価してもいいかと。管理経費の縮減のところでは利益の還元について言及するんだとしたら、そこは評価が変わるんじゃないですか。

○事務局職員 そうすると、どこかにそれを記載したほうがよろしいですか、利用者数の増と稼働率の増を。利益の還元については４番で記載するんですけど。

○小川委員 利用者数の増は２のサービスの向上のところに書けるんじゃないですか。

○潮来部会長 サービスの向上があったから利用者が増えたわけだから、それは書けますね。

○事務局職員 総合もＳと。

○小川委員 サークルの数も基本的に伸びてるし、好材料が多いんです。

○事務局職員 年度評価がＡなんです。

○小川委員 だから、総合評価になって初めてわかることがあるので。４年間の評価で

○潮来部会長 単年ではなくてね。

○小川委員 単年ではなくて。最初と最後で比較できるから。

○潮来部会長 随分改善したなど。

○小川委員 実は期間を長目で見たら、結構いい成果が出てるじゃないかということがあるんじゃないですか。

○事務局職員 先ほどの２番もＳに、４番の管理経費もＳ、４項目中２項目がＳということで、総合的にもＳということでよろしいでしょうか。

○小川委員 はい。

○事務局職員 わかりました。直します。以上のように直させていただきます。選定に向けてのご意見は今まで言われた内容を反映いたします。

○潮来部会長 言われた内容で。特に大きなコメントはありませんけど、その辺の細かい

コメントで。

○事務局職員 委員がおっしゃった、利用者数をふやす取り組みをして欲しい旨、公共施設としての自主事業であることを踏まえた事業の実施や自主事業の件数をふやして内容を充実させて欲しいことを記載すればよろしいでしょうか。

○潮来部会長 以上でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。

以上で、土気あすみが丘プラザは終了いたします。

ここで10分間ぐらい、休憩いたします。

(休憩)

○潮来部会長 それでは次に、千葉市緑区鎌取コミュニティセンターについて、所管課から説明をお願いします。先ほどと同様に、まず、年度評価をよろしくをお願いします。

○事務局 長時間にわたって恐縮です。

引き続き、資料6-1をお開きください。緑の簿冊の資料6-1。

まず1ページ目、1、基本情報ですが、指定管理者は株式会社千葉マリスタジアム、指定管理期間は同様です。

次に、2の管理運営の実績についてですが、まず、主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりで、特に三つ目の2月21日、22日に行われたコミュニティまつりでは、多くの近隣住民の方にお越しいただき、来場者が約4,000人と、盛況でございました。

②自主事業につきましては、1番目と2番目に記載の血圧計の設置やラケット等の用具の貸し出しなど、通年実施事業を2事業、その他23事業を実施しており、実施日の古い順に記載してございます。

主なものとしたしましては、12月21日に実施しましたクリスマスダンスパーティーでございますが、地域の文化振興を目的とした新規事業として、ダンスサークルと協力の上、開催し、大好評を得ております。また、上のほうに少し戻りまして、中段、7月23日、30日、8月6日、20日というふうに一覧に書かれております親子バウンドテニス教室、その二つ下、8月6日に実施した勾玉づくり、もう少し下の11月9日に実施した親子バドミントン教室など、小学生を対象とした事業をふやし、子どもの集客増加を目指した自主事業を実施し、子どもたちの参加をふやしております。

次に、2ページをご覧ください。利用状況につきましては、平成26年度の利用者数は12万3,863人で、前年度比99.1%となっております。目標値の13万4,996人に対し、目標達成率は91.8%と低くなっておりますが、これは目標値の設定を過度に高いものとしてしまったことによるものと認識しております。

また、稼働率については47.6%で、目標値49.0%に対してはマイナス1.4%となっておりますが、前年度より4.3%は引き上げております。この稼働率の上昇につきましては、利用団体件数が、昨年度の平成25年度は7,029団体であったものが、平成26年度には7,602団体と、573団体が増加したものによると考えられます。

(3) 収支の状況につきましては、収入の決算額が8,588万9,000円で、支出

の決算額が8,580万8,000円で、収支の決算額は8万1,000円のプラスとなっております。

(4) 指定管理者が行った処分の件数は、この施設における許可ですが、ご覧のとおりです。不服申し立てはございません。

情報公開ですが、開示請求が2件ございました。これは、平成22年度公募時に指定管理者が提出した提案書及び収支計画書の写しの請求でございます。

次に、3ページをご覧ください。3、利用者ニーズ・満足度の把握についてでございます。

まず、(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、アンケート調査は年2回、全利用者を対象に実施しております。調査の結果といたしましては、概ね、よい評価をいただいております。

なお、予約方法については、「不満」「非常に不満」の割合が、他に比べ高くなっておりますが、こちらも昨年度の調査では、「不満」が6.6%、「非常に不満」が1.6%となっておりましたので、かなり減少しており、平成25年に移行した新予約システムも、施設管理者の丁寧な説明などにより、徐々にですが、定着してきたものと考えられております。ですが、引き続きご不満に思われている方がいらっしゃいますので、改善すべき点がないかなど、注意するように指導してまいります。

また、アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれに対する対応ですが、臨機応変に空調をつけてほしいというご意見につきましては、地球温暖化防止、経費削減等の観点もあり、その都度、総合的な判断により柔軟に対応しておりましたが、全てのお客様のご理解を得るのは難しいものと考えております。

次、駐車場がいつも満車とのご指摘については、ご不便をおかけしておりますが、駐車場が66台の駐車スペースを有しており、1時間ごとに駐車場を巡視し、適正な駐車をお願いしたり、短時間駐車や乗り合いでの来館、他の交通手段でのご来場等のご協力をお願いするとともに、区役所が隣接しておりますので、区役所の閉庁日には区役所の駐車場を開放するなど、改善に努めております。

(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、3件寄せられました。

サークル一覧表を配布してほしいとのご意見につきましては、これまで閲覧はさせておりましたけれども、紙での配布はしていなかったものを、新たにサークル一覧表を作成し、希望者に配布しております。

また、点字ブロックの上に自転車をとめている人がいるので、きちんと管理してほしいとのご意見につきましては、点字ブロックの上に自転車をとめないような工作物の設置や、掲示物の作成、巡回時に注意の張り紙をするなどの改善を図っております。

他の利用者に迷惑をかけている子どもたちに注意をお願いしたが、きちんと対応してくれなかったとのご意見につきましては、指定管理者の注意の仕方にちょっと問題があったということでしたので、指定管理者に対し、接遇等について、改めて指導を徹底してまいりました。

次に、4、指定管理者による自己評価につきましては、施設維持管理につきましては、概ね計画どおりに実施することができた。施設管理運営について、利用者からは、概ね好評を得ることができた。自主事業については、計画事業の25事業を全て実施することは

できなかったが、計画外を含め28事業を実施することができ、中でも子どもを対象とした事業を多く実施したことから、子どもたちの参加者、利用増に貢献することができたと自己評価しております。

次に、4ページをご覧ください。市による評価ですが、評価は3段階評価の真ん中であり、Aといたしました。理由といたしましては、管理運営は概ね仕様・事業計画どおりに実施されており、コミュニティまつり等事業についても、施設利用者だけでなく、近隣にございます有吉中学校への出演依頼をしたため、中学生と地域の方々との交流を図ることができておりますし、また、サークル連絡会議は分野別に説明会を開くなどの工夫をし、施設利用者の意見聴取を実施していることを評価しております。

履行状況の確認につきましては、3と評価した項目と、1と評価した項目を中心に、ご説明いたします。

4ページ中段にございます市からの受託業務の項目で、コミュニティまつりの実施につきましては、先ほど申し上げた有吉中学校への協力依頼をしたことにより、中学生と地域の方々の交流が生まれるとともに、多くの、初日には来場者の方がいらっしゃって、来場者数につながったということで、3と評価いたしました。

二つ下にございます複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方の項目のうち、複合施設との連携については、図書館が併設されておりますので、図書館との連携による事業の充実が図られたことから、3としております。

二つ下にございます利用者サービスの向上の項目で、ロビーでの新聞の提供につきましては、3紙を提供しているということで3と評価しております。二つ下にございます電話、窓口等での丁寧な対応につきましては、受付方法を改善し、受付時間の短縮を図っているため、3としております。

4ページ下段の利用者支援の項目で、サークル調査・サークル会議の実施については、サークル代表者会議を2日間、計6回開催し、分野別に利用者の意見を丁寧に確認しているため、3といたしました。

5ページ中ほどの自主事業の効果的な実施の項目で、自主事業の実施状況につきましては、郷土料理太巻き祭りずし教室事業及び秋のバドミントン教室事業を、参加者が不足したということで中止していたため、1と評価しております。

5ページ下段にございます緊急時の対応の項目では、社員研修の実施で、8月31日に実施しました防災訓練の実施や、避難所運営委員会への積極的な参加をしているということで、3と評価しております。

よって、6ページにございますように、3点とした項目は6項目、2点とした項目は73項目、1点とした項目が1項目でございます。全てを平均いたしますと2.062点となり、四捨五入の結果、2.1と表記しております。

鎌取については、以上でございます。よろしく願いいたします。

○潮来部会長　ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。

先ほどと同様に、ここからの会議は非公開といたします。

傍聴人はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに、私から意見を述べさせていただきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人情報)が含まれているため、表示していません。)

○潮来部会長　　そういうことで、倒産と撤退のリスクについてはないということで、これは本部会の意見ということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長　　ありがとうございました。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については公開とします。

このまま続けます。

それでは次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見はございますか。

○鶴見委員　　稼働率が前年度より4%も上がっているのに、利用者数は1,000人減になるんです。

○事務局職員　　はい。

○鶴見委員　　これはどういう理由かというのは分析されましたか。

○事務局職員　　指定管理者に確認しております。利用団体数は増えています。でも、利用者数は減っている、なぜかということで、サークル数を調査したのですが、サークル数もそんなに増減はないということです。

年度の中で、サークルは高齢化によって、20とか30人いた団体の中から抜けていく人が出る。実際には新しいサークルもできて、利用者も増える。だけど、登録者の多い団体の中から5人、10人と減って、2人、3人で使っても1回利用ということで、その差が大きいのかなど。利用者人数が少ない団体が増え、利用人数が多かった団体が高齢化によって少しずつ減っている。団体数は変わっていない、利用回数が増えているんだけど、利用者数は伸びていない。そういう状況かと思っています。

○潮来部会長　　他の施設でもよくありましたけど、稼働率って、例えば和室とか音楽室とか、なかなか使われない、稼働が非常に悪いところをたまたま何かの団体が使うようになって、上がったと。ただ、人数としてはそんなに増えてない、大した数じゃない。でも、もともと10%、20%ぐらいの稼働率しかないのに、そこをある団体が使うことによって稼働率が上がるようになったという。

○事務局職員　　そうですね。人数が少なくても、利用が1回でも多くなれば、使えば稼働率は上がります。

○潮来部会長　　和室とか音楽室とかを、何か他に転用できないか考えている、そんな施設もありました。

○森山委員　　サークルは、前は5人でもよかったんです。

○事務局職員　　2人、3人でも登録というのは認めています。

○森山委員　　それだったら、サークル数は増えますよね。

○事務局職員　　鎌取については、サークル数は変わっておりません。先ほど鶴見委員か

ら言われたとおり、稼働率は上がって、利用団体数も増えているけど、利用者人数はふえてない、減っている状況です。

○鶴見委員 分りました。稼働率が上がったとしても、額面どおり評価できるかっていうと、難しいという気がします。

○潮来部会長 特に意見はないということでしょうか。

○小川委員 評価シートの5番の2ページ目の自主事業の効果的な実施についてなんですけど、たしか去年、太巻きずしって結構好評で、3回ぐらいやったと思うのですが。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 それが今回は、人数が集まらなくてできなかったと。

○事務局職員 原因ですが、同日開催だったんです。あすみが丘プラザと。あすみが丘プラザは参加費700円、鎌取コミュニティセンターは参加費1,500円という差があって、同じ時期、同じ日に市政だよりに載ったというのがまず1点です。

あと、バドミントンについては、市政だよりに載らなかったのが人が集められなかったとことが中止の理由です。

そういう事情はあるのですが、実施できなかったのも、改善の余地があるということでも1と評価させていただきました。

○小川委員 ルール適用だと、そうなりますね。

○事務局職員 事情としては、そういう事情です。25年度は3回やって評判は良かったです。

○潮来部会長 中止っていうのは、要するに募集して。

○事務局職員 2人とかだったの。

○潮来部会長 全然やらずに。

○事務局職員 中止にさせて頂いたということです。講師の方と調整して、この人数ではできないと判断しています。

○小川委員 なるほど。

○潮来部会長 それで評価が悪いと。

○事務局職員 できなかったということから改善の余地があると評価しました。

○潮来部会長 それはそうですね。ただ募集して集まらなかったら、やっぱり止めざるを得ないんですよ、きっと。

○事務局職員 そうです。1人、2人で実施する効果はないと思います。講師の方にお金を払いますから。太巻きずしは料理ですから、材料を実費で買う必要があります。それを1人分だけで先生とやるというのはどうかと思います。

○潮来部会長 それはできないですね。

○小川委員 収支予算書と収支報告書を見比べたんですけど、資料6-2の31ページです。収支予算書と、資料6-3の28ページです。収支決算書を見比べたんですけど、当初の見込みだと管理費の設備機器管理費が1,030万ですけど、実際には1,900万になった。900万も違っている。その理由を把握されていますか。

○事務局職員 900万ですか。

○小川委員 900万。

○潮来部会長 トータル的にはそんなに変わってないですけどね。

○事務局職員 内容までは、把握をしておりません。収支報告書は毎月のチェックはしているのですが900万ふえたというのは、すぐこの場では回答できません。

○小川委員 もう何年もやっている業者で、設備機器管理関係ってというのは法定、法律で定められた検査も入ってくるし、自主検査も入ると思うんですが、それにしても、こってり、狂いにくいところだと思うんですけど、これだけ乖離しているってことは、収支計画書の作り方がずさんかなという証拠なんですよ。

○潮来部会長 作り方としては余りよろしくないですね。ただ、トータルとしては多分そんなに変わってないので。

○小川委員 施設管理費は収支計画書で見たら900万で、収支報告書で見たら300万で、ここは600万ほど安くなっている。

○事務局職員 施設管理費900万というのは、マイスターに対して毎月支払っている金額と思われます。点検業務、特定建築物維持管理業務、機器動作確認業務等の委託業務です。収支報告書では300万となっています。設備機器管理費については、マイスターがマリスタジアムに対して請求した事業です。法定点検などの支払いが1,900万かかっていると考えております。

○小川委員 金額的には先ほど部会長が指摘したように、トータルではほぼ一致していると思うんですけども、予算書と計画書の作り方がずさんな感があるんです。

あと、自主事業の件数についても、当初10件なんです。最終的には25件、倍以上のものを提供するっていう積極的な取り組みが見られるんです。何年もやってきて、実績も上がってきているわけじゃないですか。だからそういったところをどの程度、勘案するのか。計画書の作り方が甘いというような印象はあります。

○事務局職員 マリスタジアムでは基本的には提案書ベースで計画を立てて、本社に送り、本社に確認してもらって挙げているというのが実情です。それを私どもはチェックさせていただいています。

○小川委員 自主事業で特色を毎年出していこうとするのであれば、実績っていうのも一つの参考材料になると思います。それが何かコントロールが効いてないような感じがあるんです。そもそもの計画書の作り方が、ちゃんと精通しているのか疑問を覚えるんです。特に法定点検に関するようところでこんなに金額が乖離してしまうと、そういう基本的な項目が、施設管理運営の基本ができないのかなという印象を持つんです。

○潮来部会長 推測ですけど、総額が余り変わってないっていうことでは、直接やるか、間接的にやるか、外注先に任せるか。さっき言ったマイスターへ、外注に任せれば科目がこっち、直接やればこっちと。科目の振り分け、勘定科目の使い方は変わってくるっていうことです。そういうことで、予算を立てたときと実際に作業したときには、ダイレクトにマリスタが発注したということがあったのかもしれない。仮にそういうことがあったとしたら、本当はここで書かなきゃいけなかったのかもしれない、実績のところでも分りやすく。

○小川委員 市からも指摘があったんですが、評価シート2ページのところの利用者ニーズや稼働率について、達成率について厳しめの意見があったんですけども。

当初の計画と実績の乖離っていうのは、この業者って頻繁に起きているんですか。

○事務局職員 頻繁にはありません。昨年度も指摘を受けておりますし、今年度も内

容が改善されていない項目は多少あると思います。

○小川委員 資料7-2を見れば分かるんだけど、稼働率が毎年、計画を下回っているんです。

○渡辺地域づくり支援室長 23年度の利用者数は落ち込んでない、先程のあすみが丘はすごく落ち込んでいたんですが。

○鶴見委員 有料化の影響が出なかったってことですか。

○渡辺地域づくり支援室長 ということです。震災の年でもあったし、有料化もあったのに。あすみが丘はそれを反映して落ちているのに。

○事務局職員 立地の問題もあるのかもしれませんが。おゆみ野は、自治会館とか、そういったものが少ないから、鎌取を使わざるを得ないという状況がどうしてもあると思います。無料の施設が少ないので、有料となっても使わざるを得ないという状況があったと思います。

○潮来部会長 比べると、やっぱり増えていない。

○事務局職員 増えていないんです。

○潮来部会長 もうちょっと何とかしてという話ですか。

○小川委員 そうですね。

○渡辺地域づくり支援室長 率的には高いですよ、鎌取のほうは。

○事務局職員 利用者人数では、あすみが丘より人数では多いです。その部分は評価してもいいと思います。伸び率という点では違うんですけど。

○小川委員 量的な伸びが期待できない中で、質的な変化ってあるんですか。この指定管理者になったことによって新たな文化とか、新たな体験をすることによってサークルが結成されたとか、もしくは多世代間の交流が進んだとかっていうような。

○事務局職員 委員から言われている、地域の特性・公的施設であることなどを理解して自主事業するよう指定管理者に指導をしました。26年度については子どもに特化した形の事業には努力されたと思います。それ以外の対象にどうしたかという、健康関係の事業が多く、サークル作りだとか、地域との連携だとかはできていないように思います。コミュニティまつりについては十分努力されているかと思います。

○小川委員 量的な伸びが難しいのであれば、質的な転換を図るという意味で、例えば中学のキャリア教育の受け皿になったとか、就業体験とかがあれば、まだ、それでも質的な面、多世代間の交流とか就業体験っていう形で社会教育に力を入れたりしているんだなという見方もできるわけで、そのような創意工夫があったのかなと。

○事務局職員 中学校の就業体験は聞いてないです。あすみが丘はあります。小中学校生の訪問だとか、中学校の職場体験事業を受け入れている実績があります。

○渡辺地域づくり支援室長 今年度は先ほど言ったように子ども向けのいろんな事業をやって、多世代間の交流とか、そういう面で努力をしていただいたようです。

○事務局職員 文化的な事業については、実施できておりません。

○豊田委員 鎌取の場合は、いろんな条件があるんですけども、小川委員とちょっとお話ししたとき、有料化の問題で、やっぱり利用するほうから一時、懸念する雰囲気が出たわけです。それは徐々に回復されていると思いますけれども。

もう一つは、サークルのリーダーさんが、かなり高齢化が進んでいる。そのために、サ

ークルのリーダーさんが今まで取りまとめの作業をやっていたのが、なかなかできなくなっている。従って、コミュニティセンターの利用を止めてしまう。こういう傾向が一つ出ているんです。

○小川委員 やっぱり出ましたか。

○豊田委員 確かに、申し込み方法にもいろいろ変更がありましたので、なかなかそれについていけないという年齢層があるわけです。そういう人たちはやっぱり離れていく。

もう一つは、有料化されたことによって、小さい自治会が使いにくい。要するに小さい自治会は財政的に非常に厳しさがあるから、なるべく無料のところで行っているわけでしょう、会議やるにしても。

その結果として、どういうことが起きるかという、今は有料化されてない施設、例えば、「おゆみ野ふれあい館」があります。保健センターの臨時の事務所としてプレハブで作ったんですけれども、2年間使って引っ越しちゃいましたから、空っぽになったのを、我々地域から市へお願いをして、「ふれあい館」という形でスタートしたんですけれども、今そこを利用する自治会がすごく多いわけです。理由としてはやっぱり、お金がかからないっていう話をするんですね。ただ、あの建物もいつまで使えるかわかりませんし、やはり将来的にはコミュニティセンターにあそこの施設も変わるんじゃないかと思います。

先程、あすみが丘の話聞いていたら、かなり地域との結びつきが強いんですね、あすみが丘の方が。鎌取の場合には、主として、いわゆる、おゆみ野地区の住人が多いわけです。そういう関係で、土地になじまない、新しい、よそから、おゆみ野へ入ってきた人たち、こういう人たちが圧倒的に多いわけであって、そういう人たちのコミュニティに対する理解というのか、まだ弱い点がかなりあります。

率直に言って、本当にもっと有効にここを使って行くためには、利用方法について、色々改善していただく必要があるんじゃないかなと感じています。

ただ、前にも小川委員とお話ししたときに、例えば公的な自治会であるとか、民生委員の会議であるとか、社会福祉協議会であるとか、そういうものは無料にすべきだと私は言っていましたけど、どうも、やっぱりその辺は難しい。どうしてかっていうと、この地域は、さっき言いましたように圧倒的に新住民が多いわけです。そうすると、他の区の地域の活動を見ていると、例えば集会所であるとか、いろいろな会議をやる場所だとか、そういうものを自分たちの力で作ってきているところがかなりあるんです。緑区の場合も、土気の場合でしたら、そういうものが幾つかあると思うんですけれども、特に、おゆみ野の場合には、そういうものがほとんどない。開発者であった公団が元気なところは、開発しながらそういうものを一つ、二つ、作ってくれたようですけども、これから先を考えると、やっぱりそういうものもなかなか難しいことになると、やはり活用できるのは公的な施設となります。

例えばコミュニティセンター、公民館等々の、そういうものが、もっと住民から使いやすい、身近なものとして感じられるようにして行かなければと思います。

○小川委員 豊田委員がずっと一貫しておっしゃってたことですよ。単なるサークルの貸部屋という形で運用するんだったら、本来、公の施設が果たすべき社会福祉の問題とかというものが脇に行ってしまうんです。それはちょっと悲しいというのは、この4年間、話し続けていたと思うんですけど。

現象として、ほかの区でも出てきているんです。人が年をとって、街も年をとるわけですから、いろんな問題が。またその一つの例として、サークルのリーダーが高齢化して、世話人がいなくなって、サークルが解散していく。そうすると地域のコミュニティの絆が薄まっていく。よそから入ってきた人たちは、どのようにつながっているのか分からない。その受け皿も欲しいんだけど、その機能を果たすところになっているかということ、なかなかコミュニティデビューというのが難しい。それをナビゲートするのが、本来、僕は指定管理者だと思ひ、そもそもは行政だと思ひているんです。

そういう嫌な現象がだんだん増えてきましたね。

○豊田委員 それは、子どもだと思ひます、狙いをつけるとすれば。かつてコミュニティづくり懇談会があったときは、自分たちの「まつり」をやるときに中学生がたくさん来ました。今はコミュニティづくり懇談会はありませんから。そうなると、例えばコミュニティセンターとして、自分たちの自主的な「コミュニティまつり」にどう地域の子もたちを吸収してくのか。この辺が問題でした。

やっとな今年、中学生が参加したんです。参加した中学生の力っていうのは大したものだと思ひたのは、まず友達がいっぱいいますよね。それから家庭がありますよね、友人、家族が。こういう関連する人たちがまつりへ顔を出してくれる。今までそういう人たちは来なかったわけですから。やっぱり努力すればそういう方法もとれる。現在の指定管理者が一念発起で頑張ってくれたと思ひますけど。そういう方法で子どもを何とか吸収していく、そういう方法というかプログラムを色々作っていく必要があると思ひます。

○森山委員 豊田委員の住むおゆみ野の自治会加入率は。土気地区は、町内会、自治会の集会所がある。それぞれ町内に一つずつ。ところが、おゆみ野はないんですね。

○豊田委員 ないです。

○森山委員 そうすると、自治会加入率が悪いんですか。

○豊田委員 悪いです。

○森山委員 市から周知するものについても低くなっていると思ひます。この間、自治会長から市長に言ってもらっているんですけど。これから、防災とか色々なことをするのに自治会に入るということを。市から活動してもらわないと達成しないんじゃないかと。おゆみ野地区は自治会加入率が50%割っている。

○事務局職員 土気地区は70%近くの加入率となっています。

○森山委員 土気地区も加入率が低くて、困ってる。本当は95%、100%に近づけなきゃいけないと思ひます。これから包括ケアとか、いろいろな問題が出てくるんですけど。自治会加入をかなり考えていかないと難しくなってくるんじゃないかなと。結局グループの友達や、自治会とか横のつながりで支え合うとか連携とか必要だと思ひます。緑区は人がふえて若い人も多いんですけど、そういう面に今から気をつけて育てていくということを考えていかないと、うまくいかないと思ひます。

○豊田委員 言うのは割合簡単なんです。実際は大変なんです。

○小川委員 まちづくりには10年かかる。

○豊田委員 行政のほうの本腰を入れて、地域のまちづくりについて、色々言い始めてるわけですよ、この数年間。その一つのいい影響として、例えば新しい自治会がぼつぼつとできた。

○渡辺地域づくり支援室長　　そうですね。ここ3年、毎年6つの自治会が結成されています。

○豊田委員　　10ぐらい増えていますよね。

○渡辺地域づくり支援室長　　そうですね。

○豊田委員　　私が地区連協役員をやっているときは、あまり結成されなかった。

　　だけど、やり方によっては増えると思うんです。ただ、中身が問題でね。区長が今度、来られて、これから色々おやりになると思うんですけど、例えば防災の問題にしたって、老人や病人の見守りの問題にしたって、口で言うのは簡単なんだけど、実際は大変、非常に大変。

　　私も今は自治会の役員は降りましたが、地元で、とにかく年寄り相手のことを何かやらなきゃと思っています。自分も年寄りだから、年寄りと話すのは割合やりやすいから。そういう方法しかないわけです。だけど、自治会どうですかとなると、自治会として本当に老人の問題についてどうするか、災害の問題についてどうするかとなると、やっぱり弱いですね、まだ全然。土気のほうが結構やっていると思いますよ。

○森山委員　　見守り隊は、私も参加しています。

○豊田委員　　そういう点をやっぱり考えて、コミュニティセンターを本当にもっと活用していくためには、利用しやすい制度を作らないと。今までみたいなやり方だと、我々、年寄りは利用しにくい。

○渡辺地域づくり支援室長　　先ほど出てた、おゆみ野のコミュニティづくり懇談会は発展的解消ということで、とりあえず解散し、地域運営委員会という別の形で、おゆみ野の中のいろんな団体に集まっていたいて、活動は始めています。

○豊田委員　　今この地域の場合、鎌取コミュニティセンターという非常に重要な場所があるわけです。これをもっと有効的に活用しなきゃいけないと思うんだけど。やっぱり使いつらい。

○渡辺地域づくり支援室長　　有料化というところですか。

○豊田委員　　まず、有料制というのがひっかかるでしょう。これは市の財政との関係からやむを得ませんが、少なくとも、限定された組織に関しては金を取らないとか、そういう方法をやってもらいたいんだけど、どうもそれはだめらしい。実際問題、使いやすくする方法はあるかっていったら、今のところないですよ。

○渡辺地域づくり支援室長　　優先予約という形で、地域団体については、通常2カ月前の施設予約を3カ月前から事前にお受けして、例えば町内自治会が集会で使うというのは、通常より1ヶ月前から借り押さえができるような、優先予約の制度もつくっています。

○豊田委員　　今は申し込むのはコンピューターを使ってやっちゃうでしょう。

○渡辺地域づくり支援室長　　優先予約は窓口で、自治会が使う場合にはシステム入力ではなくて窓口です。

○豊田委員　　そういう申し込みにくさ。面倒くさいから、もういいやと。じゃあもう使わない、細々と自分たちでやろうと。こういう形じゃ、よくないです。公の機関があるんだから、みんなで活用すべきです。

○渡辺地域づくり支援室長　　会長には、ふれあい館も陳情していただいて、使えるようにして頂きましたが、少し遠いですからね。

○豊田委員 遊んでるわけにいかないから、もう少しは地域のこともやんなきゃいけないと思っています。

今はやっぱり年寄り問題ですね。自分らの近所で、みんなと一緒にやりましょうってスタイルに、今はやっています。

コミュニティセンターの場合には、もっと使いやすい条件をつくってあげないと、もったいないと思うね。現実問題として。利用者はこうやって減っていますもの。

○森山委員 ここは住宅地でみんなの集まれるところが少ない。ここまで来るのは大変でしょう。

○豊田委員 確かに公共的な施設というのは、できるだけ多くの人に使いやすくするというのが基本なんだから。

今のシステムっていうのは使いにくいです、はっきり言って。パソコンだとか、そういうのが得意な人はいいけれど。年齢が上になると、やっぱり苦手ですよ。

○渡辺地域づくり支援室長 そうですね。

○潮来部会長 でも、それは事務局で対応しているのですよね。

○渡辺地域づくり支援室長 それは併用してやっています。

○潮来部会長 あと有料化か無料化というのは、指定管理者の話じゃなくて、市の問題ですよ。

○渡辺地域づくり支援室長 そうですね。それは市の条例の問題ですね。そういうご意見があったということは報告します。

○豊田委員 市として、いろいろ苦勞してやってくれるのはわかりますけど。そういう点で、コミュニティセンターの活用方法というのは、今のままの利用のやり方ではこれ以上なかなか伸びないんじゃないかな。

○事務局職員 情報としてよろしいでしょうか。

市の条例が今の6月議会で挙がっておりまして、制度が、28年度から変わる予定です。条例に挙がっているのは新しいコミュニティセンターを2つ、勤労市民プラザという蘇我にあったものが、今度は蘇我コミュニティセンターに変わったりだとか、真砂第一小学校が真砂コミュニティセンターにかわるという点があります。

そのほか、先ほど言ったように条例の中身が変わって、今まで市内在住の方、在勤の方、在学の方ということで特定されていたのですが、来年度からは市外の方でも使うことができるというような改定もあります。

体育館についても、今まで専用利用は、あすみが丘プラザしか団体での利用はできなかったんですが、全てのコミュニティセンターで専用での利用ができます。

諸室についても、延長したいんですといった場合は、追加の1コマ分の料金をこれまでとはとられていたんですが2時間分を半分に割って、その半分の1時間分だけお支払いいただくような、実情に沿った改正を予定しています。

利用しやすくなるような改善をしております。まだ、議会を通過してないので、はっきりとしたことではないのですが。

○潮来部会長 今いろいろご意見いただいて、ここで簡単にまとめることができないのですが、後でテープ起こししてから、まとめさせていただいて、皆様方には後日、議事録で確認いただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 ありがとうございます。

次に、総合評価について、ご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○渡辺地域づくり支援室長 それでは、総合評価について、ご説明いたします。

資料は、7-1と7-2でございます。

初めに、先ほど同様、7-2のほうからご説明させていただきます。

1の基本情報と2の管理運営の状況の(1)業務の概要については、ご覧のとおりです。

次に、利用状況の利用者数ですが、先ほどからいろいろ見ていただいておりますが、諸室・スポーツ施設の利用者数は、ほぼ増減がありません。横に推移しております。

計画数(B)に対する達成率については、23年度から25年度までは約120%となっておりますが、先ほどご説明のとおり、26年度は計画数を大幅にふやしたために、達成率が91.8%となっております。

利用者数が増えない要因としては、自主企画事業も講座数は多いものの、単発的な講座が多く、効果的な事業が実施できていないことなどが要因と思われれます。

また、稼働率については、平成25年度に前年実績を下回っておりますが、23年度と26年度を比較しますと、5.7%、稼働率が上昇しております。なお、計画上の稼働率との比較では、4年間とも、残念ながら目標を上回ることができませんでした。

次に、3の利用者意見への対応状況ですが、平成23年度に記載しております、冷房をもっと効かせてほしいとの意見に対しては、節電に対する理解と協力を求めるとともに、活動に支障ができる場合には個別に対応しております。また、26年度に記載の施設予約の受付時間を短縮してほしいのご意見に対しては、受付方法を改善いたしまして、受付時間の短縮を図るなど、改善に努めております。

次のページをご覧ください。収支状況の(1)過年度の収入・支出状況ですが、最後の行の収支のとおり、23年度から26年度まで、各年度とも黒字となっております。23年度には大幅な利益の還元をしております。

次に、(2)管理経費の縮減に係る取り組みについてですが、天気の良い日などは採光の良い場所では小まめに消灯するなどして、光熱水費の節減等に努めております。

次に、7-1に戻っていただいて、総合評価シートをご覧ください。基本情報については、ご覧のとおりです。

2の総合評価の(1)過年度の管理運営業務に対する評価ですが、各評価項目の評価は、単年度の評価ではなく、先ほど同様、23年度から26年度までの4年間の取り組みの評価であることから、総合的に判断し、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められるものとして、結果、全てをAと評価しております。

評価の理由につきましては記載のとおりでございますが、主なものとしたしましては、評価項目1のところでは、(7)の市からの事業実施受託業務については、平成23年度より関係団体との綿密な連絡調整を実施し、円滑な運営ができており、その他の項目も、概ね計画どおりの実績・成果が認められたため、Aと評価いたしました。

評価項目2につきましては、利用者支援の項目では、平成23年度はサークル代表者会議を開催していなかったんですが、平成24年度は1回、26年度からは、先ほども申し上げたように各分野別に説明会を計6回、開催するなど工夫をし、施設利用者の意見聴取

を実施しているなど、概ね計画どおりに実績・成果が認められたため、Aと評価いたしました。

評価項目3、施設の効用の発揮・施設管理能力では、(6)施設の保守管理について、日常的な点検等により修繕箇所を早期に発見し、予防修繕をすることができており、平成23年度から26年度まで計130回の修繕を実施し、円滑な施設運営をしているなど、他の項目でも、おおむね事業計画どおりの実績・成果が認められたため、Aといたしました。

評価項目4、管理経費の縮減の(1)管理経費の低廉化については、経費節減のため努めた結果、平成23年度より継続的に収支において、額は少ないんですけども、利益を計上しております。概ね計画どおりの実績が認められることから、Aと評価いたしました。

最後の総合評価においても、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたものとして、Aといたしました。

以上でございます。

○潮来部会長 ありがとうございます。

ただいま、所管から説明をいただき、総合評価につきましての評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思います。ご質問を含めて、何かございましたらお願いいたします。

○鶴見委員 意見なんですが、利用状況については、稼働率は上がっているものの、利用人員については横ばいであることにつきましては、やや不満があるということで、利用人数の増加に向けた施策をとってもらいたいということで、お願いいたします。

○潮来部会長 他に何かございますか。

○小川委員 資料の読み方で2点お聞きしたいんですが、資料7-2の利用者数の欄ですが、利用状況のところ。計画数がありますよね。23年、24年は控えめだったんですけど、25年から26年にかけて、計画数で3万人増というふうに見込んでいるんです。あと、下の稼働率のところ、計画数が増だったら、当然、稼働率も増だと思んですけども、ここは下がっているんです。何かその辺の事情は把握していますか。

○事務局職員 この13万4,000という数字については、誤りだということです。過大に設定してしまったということでご理解ください。

○小川委員 稼働率の計画比も毎年毎年、下回ってるんですよね。あと、3ページ目の収支状況のところですが、利益の還元があったという事実は伺ったんですけど、もう少し具体的に説明していただけますか。

○渡辺地域づくり支援室長 鎌取の利益の還元は、23年度が、還元率40%ということで協定を結んでいるんですが、59万3,000円の還元を受けております。あとの年はないです。

○小川委員 23年がピークだったと。そこがピークで、そこからはどういう取り組みをやろうか、23年にはたどり着けなかったということですか。

○事務局職員 そうですね。

○小川委員 一応、現行のルールにのっとって、評価Aでいいんじゃないですかね。ちょっと違う意見はあるんですけど、このルールだったらこうなるのかなと思います。

○渡辺地域づくり支援室長 収支は、一応黒字となっています。稼働率も、先程のあすみが丘と比べれば高い状況です。数的に増が望めないならば、先ほど質的などというお話も

ございましたけど、その面で少し充実してもらおうと。

○小川委員 23年度は民間に委託したことで、民間ノウハウを活用して、少なくとも管理経費についての低廉化が進んで、経営努力の成果が出たと数字的には説明できると思うんですけど、その後、以降が収支として出ないのはどうしてなのかなというのが、やっぱり気になりますよね、トータルで見たときに。

もしくは、利益で還元するよりも、ここにあるような予防修繕をすることで、130回ですか、その分に当てたというような理解でいいんですかね。

○事務局職員 予防修繕のところは、マイスターになってからは減っています。その前がすごく多かったんです。年間50回実施している年もありました。修繕回数は、トータルで130回というのは事実でございます。

○小川委員 大きいところはもう終わったということなんですか。

○事務局職員 そうですね。それも20万未満の小規模修繕ですが。

○森山委員 修理が多いんじゃないですか、私が見てもワイヤーが切れるって、定期点検してワイヤーが切れるっていうのは、早く取りかえてやらなきゃいけないし。普通の家庭でもクーラーの排水がこんなに簡単に詰まるわけがないでしょう。冷房の冷水ポンプとか温水ポンプがおかしくなったとか。私は設備的に、自分がそういう会館を管理した関係で、日常点検とかケアが悪いというふうに、私には見れますね。

○事務局職員 逆に、ですか。

○小川委員 指定管理事業なので、正直1回協定をすると、やることって年間スケジュールを組めるような話ですよ。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 23年から26年の間で支出のところの指定管理事業の実績が600万も違うんですよ。何か顕著なことがあったんですかね。

○事務局職員 消費税が5%から8%に上がっているんで、その部分は金額が大きいだけに大きいと思います。

○小川委員 それは収入のほうにも反映されていますよね。

○事務局職員 そうです。

○小川委員 収入の方が比較的、計画費って余り乱れてないんですよ。自主事業は、実績よりも多目にやろうとしているのは分るんですけど、とりあえず当たらないから数を打ち続けているんだという印象です。何かそんな印象に見えるんですよ。サークル化につながるような、定着するようなものにつながって欲しかったなという、感想に近いような意見です。

○事務局職員 そこは毎年、言われていることなので、指導させていただいているんですが、なかなか実施に結びつかないというところですよ。

前にも委員の皆さまにお話ししたと思うんですが、あすみが丘は11人のうち半分が社員。兼取については、所長と副所長のほか非常勤となっております。

○潮来部会長 印象ですけど、総合的に言うと、そこそこやってればいいのかというような気持ちで取り組んでいるような。

○事務局職員 施設の維持管理はしっかりとやっているけど、自主事業については、提案書どおり実施しており、委員のおっしゃる高いレベルでの公共性を目的とした事業をと

いうレベルまでは、達していないものと思われま

○小川委員 理解できました。収支明細表でもわかる

○事務局職員 そうですね。

○小川委員 土気の方は恐らく再雇用でしょう、スカイビルからの。

○事務局職員 館長は募集して採用しています。その他の職員はスカイビル正社員です。

○小川委員 賃金も高いし。こっち側になると非常勤が多い。それはもう、モチベーション違いますよね。

○潮来部会長 それは違いますね。

○事務局職員 所長1人で計画して1人で対応してるので、細かなサークル活動とかに結びつけるには人手と手間がかかりますから、手間がかけられないというのが実情です。

○森山委員 みんなで助け合って。1人だけでは。

○事務局職員 所長さんですから、それが。

○小川委員 それは無理だわ。

○潮来部会長 そんなところでよろしいでしょうか。

○小川委員 Aでいいんじゃないですか、このルールでは。

○潮来部会長 今いただいたように、市の評価は総合でA評価ということですがけれども、本部会の評価としてもそれでよろしいということで、皆様よろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思

何かご意見ございましたら、お願いします。

○鶴見委員 先ほどのことでいいんじゃないですか。

○潮来部会長 先ほどのこと、あるいは今まで出てきたことをまとめればよろしいということ

○小川委員 稼働率の向上だとか、地域性を鑑みた自主事業の展開だとか、もっと地域とのつながりを強くして欲しいです。豊田委員がおっしゃるように。

○潮来部会長 ありがとうございます。

今日は時間の都合もありますので、皆様のご意見を事務局と私の方でまとめて、また議事録を皆様にお渡ししますので、そこでまたご意見をいただければと思います。それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○潮来部会長 ありがとうございます。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は終了します。

次に、議題3「今後の予定について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局職員 それでは、今後の予定について、ご説明させていただきます。

本日、委員の皆様より頂きましたご意見等につきましては、潮来部会長さんから選定

評価委員会の横山会長さんにご報告いただき、その後、横山会長さんから市長宛てに委員会の意見として答申していただくという流れになります。この委員会の答申を受けまして、施設所管課が委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬までに市ホームページに掲載し、公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同市ホームページにて公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にはご報告をさせていただきます。なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、次回の部会の開催日程の詳細につきましては、委員の皆様へ事務局より、改めてご連絡いたしますので、どうぞご協力をお願いいたします。

以上でございます。

○潮来部会長　　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますか。

(なし)

○潮来部会長　　それでは最後に、議題4「その他」についてですが、委員の皆様から何かご質問等ございますでしょうか。

(なし)

○潮来部会長　　では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○事務局職員　　長時間にわたり、慎重なご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会、第1回緑区役所部会を閉会いたします。

皆様、本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。本当に長時間すみません。ありがとうございました。